

会 議 録

| | | | | | | |
|--------------------|-----|--|----|------|------|-----|
| 会議名 (審議会等名) | | 平成 29 年度相模原市子ども・子育て会議 第 3 回相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会 | | | | |
| 事務局 (担当課) | | こども・若者政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 3 1 6 (直通) | | | | |
| 開催日時 | | 平成 30 年 3 月 19 日 (月) 午後 6 時 0 0 分 ~ 8 時 0 5 分 | | | | |
| 開催場所 | | けやき会館 職員研修所大研修室 | | | | |
| 出席者 | 委員 | 3 人 (別紙のとおり) | | | | |
| | その他 | 5 人 (別紙のとおり) | | | | |
| | 事務局 | 11 人 (こども・若者政策課職員 6 名、保育課職員 5 名) | | | | |
| 公開の可否 | | 可 | 不可 | 一部不可 | 傍聴者数 | 0 人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | | | | |
| 会議次第 | | 1 開会 2 議題 (1) 平成 30 年度相模原市幼児教育・保育研修計画 (案) について (2) 相模原市幼児教育・保育ガイドラインの策定に伴う今後の予定等について 3 その他 4 閉会 | | | | |

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員・関係者の発言、 は事務局の発言)

1. 開 会

2. 議 題

(1) 平成30年度相模原市幼児教育・保育研修計画(案)について

幼稚園・認定こども園協会としては、私学の独自性を大切にしており、研修についても私学の特性を生かした研修内容にしたいという意見が出ている。また、市のステップアップ研修は、希望者が受けられるものということになっているが、受講を強制するようなものにはして欲しくない。

保育所側も、園毎に独自性を持った保育を行っているので、それを脅かすような内容であれば問題であるが、今回の研修計画案についてそういったものは見受けられないので、今後研修の内容等について、この場で話し合っ決めていければいいと思う。

今後、自分たちが必要な研修を、その研修に合わせて講師を選ぶという必要があるので、こども園、保育園、幼稚園それぞれから意見を出し合っ欲しい。現場の職員から聞かれることとしては、現場からの声を基に作られた研修を受けたいが、処遇改善費を得るために該当の研修に出ざるをえない。そうした危惧すべき状況を耳にするが、であればなおのこと、そもそも国が示した8分野の個々の内容は、現状ではあくまで例示になっているので、現場の職員や、園や地域のニーズに基づく内容が、その内容にどのように関連するのかを考え、自分達が学びたい内容にリンクさせて内容を加えておく必要がある。また、前述したように現状ではまだまだ示された内容の抽象度が高い点を考えれば、自分達が学ぶ必要があると思われる事柄については、その関連する講義の際に取り扱っ欲しい内容を具体的なキーワードとして示し、それを講習内容に結び付け研修講師に依頼すること等も考えられる。いずれにしても、次年度以降、大枠の研修計画はベースにした上で、さらに研修内容についてはブラッシュアップしてより良いものを作っければと思う。

研修の修了証の発行については、研修の参加が自由でありながら、次のステップへ進むためには、受講履歴が分かる証拠書類として必要であるというところが、研修の受講を強制するようなものにならないかという意見が幼稚園・認定こども園協会から出ている。

受講する当事者の立場からすると修了証は欲しいと思うのではないか。また、園としても、きちんと時間どおり受講しているという証明もあつた方がよいのではないかと思う。研修の内容については、現段階では特別な内容が入っているわけではないが、実際に受講してみないと内容についてはわからない部分もあるので、今後

意見を聞いてもらえればと思う。

研修の対象者を希望する者としているが、市としてはこの研修に対してどのようなスタンスをとろうとしているのか。私学助成の幼稚園にとっては、正直なところこの研修を受けることのメリットがさほど感じられないし、既に幼稚園・認定こども園協会で行っている研修があるため、もし、幼稚園・認定こども園協会も含め皆が参加できるような研修を構築していきたいということであれば、現在幼稚園・認定こども園協会で行っている研修を新しい研修体系の中に位置付けるような手立てを考えてもらいたい。

当初は、幼稚園教育要領や保育所保育指針等の改訂を踏まえて、公立私立問わず全ての保育者が一緒に研修を受けていければというところでスタートした。各団体に研修を行っていることも承知しているので、必ずしも全てこの研修を受けなければいけないというわけではなく、選択肢として考えてもらいたい。今回研修内容について、意見を広く聞く時間的な余裕がなかったことについては申し訳なく思っている。実際に研修が行われるまでには時間もあるので、研修の内容について要望があれば、ご意見を伺い、講師の先生にお願いすることは可能かと思う。

内容についての要望等は、平成30年度の研修についても可能か。

会場と講師については動かせないが、研修の中で話して欲しい内容の要望は可能である。

中堅研修 期の対象者については、中堅研修 期を受講済の保育士・幼稚園教諭・保育教諭となっているが、平成30年度は行わないということによいか。

その通りなので、資料を修正させていただく。また、対象者については概ねの年次を示しているが、それぞれの園の状況に応じた対象者を選出して欲しい。

研修の申請に関しては、個人での申請となっているが、園と関係なく個人が申請をしたり、有休を取得して研修を受けに行くといったことは想定されないか。

電子申請をする際に、勤務時間内の研修については園長の許可を得ているかどうかについてチェック欄を設けている。また、研修の周知方法については、園長宛のメールで周知を行い、園に許可をとって受講をお願いする予定である。園のパソコンから園長がまとめて申請することも可能である。

キャリアアップ研修の時間数管理は、どのように行うのか。

市から県へ報告を行い、県が修了証を発行する。これは国が定めているしくみである。

転出入をした保育者の研修履歴の管理について、徹底する必要がある。

平成31年度以降の研修内容については、より各団体からの意見を集約していくために、話し合いの時期等についても早い段階で決めていければよいと思う。

研修資料の項目内容名等について、表記のばらつきが見受けられるので統一した方がよい。

資料については、修正させていただく。

支援保育や配慮を必要とする子どもに対する研修が多く入っていることについて、非常に嬉しく思う。児童発達支援センターの見学の項目があるが、児童発達支援センターにおける療育と保育園における療育は異なるので、集団の中で配慮が必要な子どもに対してどのような配慮をしていったらいいのかというような研修があるとよいのではないかと思う。

該当する研修は、保育実践に関する研修項目において行う予定である。児童発達支援センターの研修については、関係機関との連携といった視点が強く、研修の中でも、センターの療育でできることとの住み分けについて、話をする予定である。

(2) 相模原市幼児教育・保育ガイドラインの策定に伴う今後の予定等について

現在の策定図では、ガイドラインを策定した後に研修体系が構築される流れになっているが、研修を実施していく中で、その内容を踏まえてガイドラインをブラッシュアップするような、双方向の流れができるとういと思う。

現在の策定図に加えて、どの時期までにどの内容まで策定を進めていくのか、またアンケートはどのような趣旨でとるのかといったことも盛り込んだ、工程表のようなものがあるとよい。

ガイドラインが策定されたときに、このガイドラインが監査の基準の中に位置づけられるような拘束力が強いものになるのか、それともあくまでもガイドをするものという位置づけのものと考えるのか、市としてすでにイメージを持っているのか。

現時点では、法的な拘束力を持たせることは難しいのではないかと考えている。

現時点では、保育の質の向上を考えていく中の指標という位置づけになると思うが、今後の国の動向によっては、別の役割も生じる可能性がある。

ガイドライン作成における受益者には、当然保護者（広く考えれば子育てや個育ちに関心のある市民）もその対象として含めて考える必要がある。世田谷区ではガイドラインの作成に合わせて、保護者が手に取りやすいように漫画版も作成している。保護者に受け入れてもらい、幼児教育・保育に関心を持ってもらえれば、質向上の取組も今後さらに推進しやすくなると思うので、ぜひ検討して欲しい。

3. その他

特になし。

4. 閉 会

相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会委員名簿（五十音順）

| 名 前 | 所 属 | 出欠 |
|--------|-------------------------|----|
| 朝比奈 太郎 | 相模原市私立保育園園長会 | 出席 |
| 安藤 抄苗 | 公募市民 | 欠席 |
| 大西 輝佳 | 相模原市立小中学校長会 | 欠席 |
| 岡 健 | 大妻女子大学児童学科教授 | 出席 |
| 八木 肇 | 一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会 | 出席 |

部会長

相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会関係者名簿（五十音順）

| 名 前 | 所 属 | 出欠 |
|--------|-------------------------|----|
| 岩本 勉 | 一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会 | 欠席 |
| 遠藤 美智子 | 相模原市陽光台保育園園長 | 出席 |
| 大野 計子 | 相模原市ふじの幼稚園園長 | 出席 |
| 岡部 尚紀 | 相模原市教育局総合学習センター担当課長 | 出席 |
| 神尾 美香子 | 相模原市私立保育園園長会 | 出席 |
| 齋藤 正典 | 一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会 | 出席 |
| 園田 巖 | 東京都市大学人間科学部講師 | 欠席 |